

長年にわたり市政発展に尽力

平成24年 小林市功労市民・市民表彰

11月3日、小林市功労市民・市民表彰式典が文化会館で行われました。堀泰一郎前市長を功労市民に推戴。市政各分野の発展、向上に功績のあった個人を市民表彰として表彰しました。また、市政に貢献した2人に感謝状を贈呈しました。



小林市功労市民
堀 泰一郎さん

市議会議員を5期19年7月、市長を4期15年務め、市政発展に多大な貢献をなした。この間、旧須木村、旧野尻町との合併を実現するなど、その功績と活躍は真に顕著なものがある。

東方一区区長として16年（うち2年間は小林市区長会副会長）として、地方自治の発展に貢献。また、民生委員児童委員を15年間務めるなど、地域福祉の向上にも寄与した。



市民表彰(地方自治部門)
高津佐 昇さん



市民表彰(教育芸術・体育・文化部門)
末永 哲夫さん

長年にわたり、小林市陸上競技協会理事や理事長として、本市の陸上競技の発展に尽力。また、グラウンドゴルフ・ペタンク競技の本市への導入、振興発展に率先して務めた。

中部小林会会長として、長年にわたり活躍。現在は顧問。ヒカンザクラとオオシマザクラを交配させ、ヤマザクラに接ぎ木したクリスノザクラ約750本を市に寄贈。また、多額のふるさと寄附金をされた。



感謝状
栗楽野 勉さん



感謝状
貴嶋 ユミさん

長年にわたり、中央画壇で活躍。帰郷後、故郷の風土・民族などを描きながら、全国に情報発信しているほか、絵画制作、作品公開などを通じて、本市の文化向上に寄与。また、多くの作品を公共施設や学校などに寄贈。



市立病院の駐車場で除幕される電波時計。当日は、天守閣で結成50周年記念式典も開催され、会員への表彰などが行われました

ライオンズクラブ50周年 市立病院に電波時計を寄贈

11月4日、小林ライオンズクラブが市立病院に電波時計を寄贈し、病院駐車場で除幕式が行われました。当クラブが結成50周年を迎えたことを記念し、寄贈。結成50周年記念の大会会長今釜克己さんは「この時計が、病院の利用者や市民の役にたてば幸い」とあいさつしました。

緑化推進に貢献した永久津中 と東方中を表彰

11月4日、永久津中学校と東方中学校が環境緑化推進に顕著な功績のある学校関係緑化優秀校として表彰されました。永久津中は、花いっぱい運動や一人一鉢運動に取り組んでいることなど、東方中は、育てた花を地域の高齢者施設などに贈呈していることなどが評価されました。



表彰式は、第7回「水と緑の森林づくり」ボランティアの集いの中で行われました

ほぜっこ相撲に大歓声 秋の風物詩すきほぜまつり

11月3日、すきほぜまつりが宮之瀬橋上流河川プール敷で開催されました。7チーム33人が参加した地区対抗のほぜっこ相撲では、小さな力士たちが手に汗握る熱戦を展開。また地区対抗の綱引き大会、紅白餅の振る舞いや、原地区の郷土芸能である「やっこさん」が披露され、来場者を楽しませていました。



本格的な土俵上で展開されるほぜっこ相撲に保護者や観客からは温かい声援と笑顔があふれていました

コスモス牧場ウオーラリー 大会で絶景を満喫

11月3日、コスモス牧場ウオーラリー大会（同実行委員会主催：指宿憲昭会長）が開催されました。市内外から130チーム約400人が参加。およそ2キロのコース内を小林市にまつわるクイズや、輪投げなどのゲームをクリアしながら元気にゴールしました。大会後は、宮崎牛などが当たる大抽選会も開催されました。



参加者は、輪投げを使ったゲームやクイズなど、頭と体を使ったウオーラリーを楽しんでいました



9月から市内13カ所の温泉・入浴施設を巡るスタンプラリーも開催。スタンプを集めた人を対象に、会場で抽選会も行われました

魅力あふれる出店に1万人 大こばやし展物産フェア開催

10月27日と28日、大こばやし展物産フェアがのじりこびあで開催されました。口蹄疫で打撃を受けた市内の中小企業支援を目的に開催され、売り場テントには40業者が出店に参加。特設ステージでは12団体によるダンスなども披露され、市内外から訪れた約1万人を楽しませていました。



救急車を交付した肥後市長は「尊い人命を守るために、最新の機能を活用してほしい」とあいさつしました

救命率の向上に期待 高規格救急車が野尻分遣所に

11月1日、高規格救急車の交付式が中央消防署でありました。この救急車は、最新の救命機材を搭載しており、老朽化していた野尻分遣所のものを更新。西諸広域行政事務組合消防本部の柚木脇充消防長は「住民の安心安全を守るために、十分に活用したい」と話していました。

美しい音色にうっとり

11月8日、小林小で音楽鑑賞教室がありました。ヴァイオリニストの松野迅さん、ピアニストのおおはしみつあき大橋実明さん、榎田匡志さんの3人が共演。9曲を演奏するなど美しい音色を奏で、聴衆を魅了していました。



今年も福祉バザーが大盛況

10月27日、市民体育館で福祉バザーが開催されました。開場と同時に、館内は買い物客の熱気で賑わい。タオルや食器などの日用品が並び、約1,000人が来場。駐車スペースでは焼き鳥などの販売も行われました。



鳥田町小で楽しく絵画教室

10月27日と28日、鳥田町小で「えがこうぼくの私のふるさと」と題した絵画教室が開かれました。市内外の小中学生20人が参加。講師である絵本作家の小林豊さんのアドバイスのもと楽しく絵を描いていました。



ペタンク競技九州大会で三ツ星が優勝

10月21日、第16回FJPBカップ九州ブロックペタンク鹿児島大会が行われ、川内洋一さん、江藤洋子さん、西野ヨシ子さんが所属するチーム三ツ星が優勝しました。リーダーの川内さんは「今後の大会でも優勝を狙っていきたい」と話していました。



紅葉色づく県道1号で育樹祭

11月1日、沿道の美化と緑化を目的に、県道1号みどりのトンネル育樹祭が行われました。事業所や市民ら約180人が参加。参加者は、県道1号の旧料金所跡から展望所までの約8キロにわたり、樹木の枝の除伐、下払いや清掃などを行いました。



各分野で活動、貢献 市内の5人が叙勲・褒章を受章

11月3日付けで、秋の叙勲と褒章が府から発令され、本市から5人が受章しました。叙勲、褒章は、国家または公共に功労のある人、社会各分野で優れた行いのある人を表彰するもの。受章された皆さんを紹介しします。



藍綬褒章
川野 輝子さん

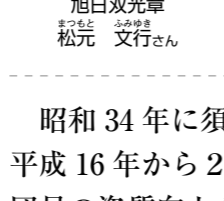
保護司を25年間務め、犯罪や非行に陥った人の更生を支える活動に尽力し、社会復帰を支えるなど、犯罪のない明るい社会づくりに貢献した。

昭和58年から野尻町議会議員を6期務める。その間、議長、副議長などを歴任。地方自治の発展、住民福祉の向上、産業振興に貢献した。



旭日双光章
留野 満信さん

昭和57年から29年間、漆野原土地改良区理事長を務め、農地の降雨被害を防ぐ県営農地保全整備事業着工などに貢献。県土地改良事業団体連合会理事も務めた。



旭日双光章
松元 文行さん

昭和34年に須木消防団に入団。平成16年から2年間団長を務め、団員の資質向上や消防施設の整備拡充に取り組んだ。また、小林市消防団副団長も務めた。



瑞宝双光章
西道 紀一さん

昭和44年、陸上自衛隊に入隊。昭和48年から37年間、防衛技官として設備管理などに従事。昭和56年から退官する平成22年までえびの駐屯地業務隊に所属した。



瑞宝単光章
馬原 賢さん

身近なことから考えよう 環境フェスタ2012

11月11日、中央公民館で環境フェスタ2012が開催されました。身近な環境から考え、できることから取り組んでもらおうと、市民活動団体ECO社員ズ、NPO法人赤とんぼと市が協力して開催。廃油を活用したキャンドルづくり、エコバッグづくりや講演などが行われ、参加者は環境について理解を深めていました。



絵の具を混ぜてできる色鮮やかな廃油キャンドルづくりに興味津々の参加者

はつらつプレーで交流を深める 環霧島で初のソフトテニス大会

11月10日と11日、環霧島ソフトテニス大会 in 小林が小林総合運動公園市営テニスコートで開催されました。環霧島会議を構成する5市2町から、幅広い年齢層の団体9チーム、個人74人が参加。スポーツの秋にふさわしく、参加者ははつらつとプレーし交流を深めていました。



会場では、試合のほか、5市2町の観光PRや、小林市の特産品の販売も行われました



生徒は4月に小林西校衛生看護科に入学。今後、昼間定時制に通いながら准看護師免許取得を目指します。

ナースキャップで気持ち新たに 准看護学校で戴帽式

11月8日、西諸医師会立小林准看護学校で戴帽式が行われました。今回、式を迎えたのは1年生20人。生徒は教員からナースキャップをかぶられ、ナイチンゲール像の火を各自のろうそくに灯しました。内村大介校長は「患者に心から感謝されるような看護師になってほしい」と激励しました。



「絵を描くのはあまり得意ではないけど、これからはもっといい絵を描けるよう頑張る」と笑顔の富吉君

三松小5年の富吉龍介君 動物画コンクールで県知事賞

三松小5年の富吉龍介君が「児童及び幼児動物画コンクール」で県知事賞を受賞しました。富吉君が描いたのは、コスモス牧場のヤギ。「強く印象に残ったヤギの目に力を入れ、足の関節をたく描いた」と自身の絵へのこだわりを解説し、受賞を喜んでいました。